



神谷農機店



代表 水穂照洋氏

先代から店舗を譲り受け農機店として独立、地元農業の変化に対応してきた神谷農機店(和歌山県紀の川市粉河451-2 代表者 水穂照洋氏)を訪問。訪問中、何度もお客様が来店される多忙な時間にも関わらず、時間を割いて取材に応じていただきました。

JR和歌山駅からJR和歌山線に乗り約30分、粉河駅から徒歩9分、国道24号線沿いに神谷農機店があります。創業以来三菱農機の商品をメインに扱い、三菱農機特約店として、販売、整備に力を入れています。

近隣には西暦770年に創建された、西国三十三所第三番札所 粉河寺があり、桃や柿、キウイフルーツなどの果樹栽培が盛んな地域です。

代表の水穂氏は、農業士木を学び、その後協賛から依頼され、農業構造

改善事業として道路舗装の測量設計を行いました。そのときに土木会社と親しくなり、土木会社に就職しました。水穂氏は、この土木会社で使用していた機械の修理を自分で行い、必要な部品を当時の神谷農機店で購入していました。その様子を見ていた先代神谷農機店の主人に「機械の修理をするならここで働けばいい」と誘われ、それから農機販売の仕事に携わることになりました。しかし水穂氏は農家の長男であったことから、いずれば農家を継ぐものと思っていたそうです。

しかし昭和53年、先代の神谷農機店には後継者がなく、数名いた従業員の中で水穂氏に店舗を譲ることになりました。水穂氏は店を引き継いだ後も店名を「神谷農機店」のまま、以来36年、奥様と従業員1名の3人で営業を続けています。水穂氏の奥様は神谷農機店を引き継いでから事務など

店の手伝いをするようになったそうです。当初はいろいろ戸惑うことも多く苦労されたことと思います。

昭和40年代以降、農業機械では耕うん機からトラクターに比重が変わってききましたが、この時期、周辺農家では、みかん価格の暴落後、晩柑ブームに乗り、田んぼを転換し八朔などをつくる農家が増加。それに伴い水田が減少し、トラクターやコンバイン等の売上は他の米作地帯のように大きく伸びることはなく、機械では防除機や草刈り機等が販売の中心となっていました。

また農家にとって反収が米の3〜10倍もある果樹は魅力的な農作物であり、以前は、果樹栽培の収入の余力でトラクター等を購入して、米づくりをする農家も多かったそうです。しかし現在は農家の高齢化もあり、果樹栽培のみの農家が増えていくそうです。神谷農機店の顧客を見ても米の生産をしているのは全体の10%程度ということでした。

紀ノ里周辺では、本紙平成24年10月号で6次産業化事例の1つとして紹介した、JA紀の里「めっけもん広場」を始め元気な直売所が多く、農家の大事な収入源となっているそうです。紀の里地区では生産量日本一と言われるキウイを始め、桃、柿、晩柑等多品種栽培しており、直売所は、他地域の直売所と比較して品揃えの豊富さが強みとなり、消費者を飽きさせない、客を引き寄せる魅力となっているそうです。

こうした地域性から農業機械は、これまで高所作業車やスピードスプレーヤーが作業の効率化等から比較的良く売れていました。しかし、近年宅地化が進み、スピードスプレーヤーの噴霧作業が問題視され、使用できない農家が増えてきているそうです。これが高齢化が重なり、農作業の負担が増し、離農に拍車をかける状況につながっているようです。

このように果樹中心の地域特性から、トラクター、コンバイン等の大型

水穂氏が昭和53年ころに1級の整備技能士の資格を取得し、その後、昭和62年〜平成13年まで県の技能検定試験の検定員を務めていました。また当時は、技能士の総会等で、農業機械整備技能士は、技能士となってもメリットが少ないことから、車検制度に代わる技能士による定期検査の義務付けを訴える等、整備技能士の育成、整備技術の向上、技能士の地位向上などに尽力されました。

水穂氏が所有する畑の多くは委託しているそうですが、もともと農業が好きで、一部の畑でもご自身で手入れをして柿を作っています。今は収穫した柿の洗抜きから出荷まで全量を農協に依頼して行っているそうです。

神谷農機店でも農機販

事等の比重が高くなっています。水穂氏は農業士木を学んだことがここで活かされ、地元農家の需要に適した販売のスタイルが確立できたのではないかと思います。

整備は大型機械の整備は少なく、小型機械の整備が中心になっているので、整備技術料収入を十分に得ることは難しいが、細かい仕事の積み重ねが次につながることを意識して、迅速な対応を心掛けていくそうです。また農協の農機センターが近くにありますが、特に競合していると感じることは少ないとのこと。

また中古農機に対する需要は少なく、離農する人から機械を買い取る程度で積極的に展開していく状況にはないそうです。

筆者は昔、「商い」は、「販がない」販することなく続けていくこと、ただの金儲けとは違う。続けていくことの大切さを繰り返し聞いてきました。そして、伝統とは決して譲ってはいけない基本を守りながら、時代の変化に対応し、進化していくことだと思っていました。

神谷農機店は、水穂氏が先代から引き継いだ後も「神谷農機店」として、昔からの長い付き合いのある顧客を大切に、農家との信頼関係を育み、地域農業の変化にしっかりと対応しながら、長年にわたり商いを続けてこられました。

これからも地域に貢献していく神谷農機店として、水穂氏の決めた到達点に向かって進んでいくと、強いと思いがちです。

まだ仕事を続けていく気持ちはある  
しかし農家がいつまで続くのか、

昭和40年代以降、農業機械では耕うん機からトラクターに比重が変わってききましたが、この時期、周辺農家では、みかん価格の暴落後、晩柑ブームに乗り、田んぼを転換し八朔などをつくる農家が増加。それに伴い水田が減少し、トラクターやコンバイン等の売上は他の米作地帯のように大きく伸びることはなく、機械では防除機や草刈り機等が販売の中心となっていました。

また農家にとって反収が米の3〜10倍もある果樹は魅力的な農作物であり、以前は、果樹栽培の収入の余力でトラクター等を購入して、米づくりをする農家も多かったそうです。しかし現在は農家の高齢化もあり、果樹栽培のみの農家が増えていくそうです。神谷農機店の顧客を見ても米の生産をしているのは全体の10%程度ということでした。

水穂氏は昭和53年ころに1級の整備技能士の資格を取得し、その後、昭和62年〜平成13年まで県の技能検定試験の検定員を務めていました。また当時は、技能士の総会等で、農業機械整備技能士は、技能士となってもメリットが少ないことから、車検制度に代わる技能士による定期検査の義務付けを訴える等、整備技能士の育成、整備技術の向上、技能士の地位向上などに尽力されました。

水穂氏が所有する畑の多くは委託しているそうですが、もともと農業が好きで、一部の畑でもご自身で手入れをして柿を作っています。今は収穫した柿の洗抜きから出荷まで全量を農協に依頼して行っているそうです。

神谷農機店でも農機販

事等の比重が高くなっています。水穂氏は農業士木を学んだことがここで活かされ、地元農家の需要に適した販売のスタイルが確立できたのではないかと思います。

整備は大型機械の整備は少なく、小型機械の整備が中心になっているので、整備技術料収入を十分に得ることは難しいが、細かい仕事の積み重ねが次につながることを意識して、迅速な対応を心掛けていくそうです。また農協の農機センターが近くにありますが、特に競合していると感じることは少ないとのこと。

また中古農機に対する需要は少なく、離農する人から機械を買い取る程度で積極的に展開していく状況にはないそうです。

筆者は昔、「商い」は、「販がない」販することなく続けていくこと、ただの金儲けとは違う。続けていくことの大切さを繰り返し聞いてきました。そして、伝統とは決して譲ってはいけない基本を守りながら、時代の変化に対応し、進化していくことだと思っていました。

神谷農機店は、水穂氏が先代から引き継いだ後も「神谷農機店」として、昔からの長い付き合いのある顧客を大切に、農家との信頼関係を育み、地域農業の変化にしっかりと対応しながら、長年にわたり商いを続けてこられました。

これからも地域に貢献していく神谷農機店として、水穂氏の決めた到達点に向かって進んでいくと、強いと思いがちです。

# あなたのお店を拝見

## 先代から店舗を譲り受け36年 果樹栽培農家に対応し、設備工事が主軸

### 神谷農機店

その273



整備工場

整備は大型機械の整備は少なく、小型機械の整備が中心になっているので、整備技術料収入を十分に得ることは難しいが、細かい仕事の積み重ねが次につながることを意識して、迅速な対応を心掛けていくそうです。また農協の農機センターが近くにありますが、特に競合していると感じることは少ないとのこと。

また中古農機に対する需要は少なく、離農する人から機械を買い取る程度で積極的に展開していく状況にはないそうです。

**MITSUBISHI**

Powerful & Quick Response

**LE601 DIESEL**

20PS 761cc

Change for Future

ASUMA

植付の美しさに極まる。

植付性能の洗練・高精度化

シンプル操作でスピーディーな作業。

植付自動スーパースマイルターン機能

ジャストメジャーで効率作業

農機のことなら このマークのところで

ASUMA

農機のことなら このマークのところで

FOOD ACTION BEYOND

農業パートナーです。

三菱農機株式会社 本社/鳥取県松江市東出雲町西原667-1 TEL.0852(52)2111(代) ホームページ http://www.mam.co.jp/